



大分大学 (大分県)

歴史豊かな大分の地で、日本研究の進歩に貢献しよう！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

教育学部、経済学部、医学部、理工学部、福祉健康科学部、5大学院（教育学、経済学、医学系、工学、福祉健康科学）からなり、2023年5月現在、約5,400人が学ぶ国立の総合大学です。

緑豊かなキャンパスで「創造性や人間性に富む人材の育成」、「国際社会の平和と発展への貢献」、「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育が実践されており、少人数制の教育の下、教員やスタッフと親密な関係が築け、日本人学生との交流も活発に行うことができます。

② 国際交流の実績

本学は、2023年5月現在21の国と地域の64大学と学生交流協定を結んでおり、123人の留学生が学んでいます。

本学の日研究生プログラムは2004年から始まり、毎年日研究生を受け入れています。

このプログラム以外にも、協定校間で短期留学生を対象とした交換プログラムがあり、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中国、韓国などから、毎学期約60人の交換留学生が学んでいます。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研究生）の受入れ実績

2023年：留学生数123人、日研究生2人
2022年：留学生数 87人、日研究生2人
2021年：留学生数114人、日研究生3人

④ 地域の特徴

知っていましたか？大分県の人口10万人当たり
に占める留学生の数は2022年度は日本で3番目と、

大分県は多くの留学生を受け入れています。

大分県は九州東部に位置し、県庁所在地の大分市は人口約48万人の地方都市です。東京や大阪などの大都市に比べて物価が安く、人々も親切で、留学生には生活しやすいところです。

別府や湯布院など、全国的に有名な温泉地があり、世界各国多くの観光客が訪れています。

年間の平均気温は約17℃と温暖で過ごしやすく、四季折々の自然の美しさを堪能することができます。

歴史的にもたくさんの魅力があり、戦国大名の大友宗麟が治めていた時代(16世紀)の大分市は日本を代表する国際都市でした。時代を遡れば11世紀から12世紀にかけて彫られた臼杵石仏、8世紀に建立された宇佐神宮(いずれも国宝)など、大分県内には多くの名所旧跡があります。留学期間中に訪れてみてはいかがでしょうか。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

タスクは、日本語・日本文化に関わるテーマを一つ選び、指導教員の指導の下、調査・研究の仕方、日本語での論文の書き方を学びながら、11カ月かけて論文を書き上げることです。指導教員、チューター、日研究生がチームを組んで論文指導は行われますので、安心して論文を書き上げることができます。

また、この論文作成と並行して、中級(レベル4)から上級までの日本語科目、ならびに、日本事情科目の中から自らのレベル・目的に合った科目を選択し、日本語の更なる習得も行います。

③ 受入定員

5名(大使館推薦 2名、大学推薦 3名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 日本語検定試験N2またはそれ以上を取得している者が望ましい。
- 2) 外国(日本以外)の大学で、日本語・日本文化に関する分野を専攻としている者。日本語・日本文化に関する分野を専攻していない場合は、日本語・日本文化に強い関心を持つ者。
- 3) 来日時点で日本語を300時間程度学習していること。
- 4) 日本語が母語でないこと。
- 5) 日本語で日常会話ができること。
- 6) 自分の得意な研究分野の日本語論文を辞書を使って読む能力を有していること。
- 7) 400字の長さの日本語エッセイを辞書を使って30分程度で書ける能力を有していること。
- 8) 日本語・日本文化をテーマに調査・研究を自主的に行う意欲があること。

⑤ 達成目標

- 1) 学術的目標
 - ・論文の書き方を習得し、自ら専門の分野の論文を実際に執筆する。
 - ・学術論文の書き方について、具体的にはいかにについて学ぶ。
 - ✓ 序論・本論・結論の論理的繋がり
の理解
 - ✓ 理論構築とデータ収集のバランス
のとり方
 - ✓ 参考文献の提示の仕方
 - ✓ テキスト内引用の方法

2) 日本語運用上の目標

- ・対人関係，場に配慮した、大人の日本語が理解でき、話せるようになる。
- ・大学の教養課程レベルで要求される日本語能力（レポート作成および発表）が身につく。具体的には、授業内容を理解し、レポートを書くことができ、授業内で発表ができるようになる。
- ・地域交流に必要な日本語が理解でき、話せるようになる。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2024年9月下旬 ～ 2025年8月下旬
(2024年9月26日 ～ 2025年8月31日[予定])

⑦ 奨学金支給期間

2024年10月 ～ 2025年8月

⑧ 年間行事・年間スケジュール

- 9月 下旬 渡日
開講式、オリエンテーション、プレースメントテスト
- 10月 新留学生歓迎会
チューターとの研修旅行
- 11月 学園祭
大学コンソーシアムおおいた主催日本語スピーチコンテスト
- 12月 国際文化祭
GAIAセミナー
- 2月～3月 春休み
- 4月 健康診断
- 5月 消防訓練
- 6月 狂言ワークショップ
- 7月 七夕祭（大分大学）
留学生送別会
- 8月 修了式
- 8月下旬 帰国

⑨ コースの修了要件

- ・通年で14科目以上を受講し、26単位以上取得すること。
 - ・「日本研究Ⅰ」（後期）と「日本研究Ⅱ」（前期）は必ず受講し、単位を取得すること。
- ※コース修了者には、修了証書および成績証明書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

本学の特徴は、大分の魅力を発見できるさまざまな科目を用意しています。2)に説明する必須・選択科目の中から、1週間に7科目以上を受講する必要があります。それぞれの科目は、1週間に1コマ（90分）の開講で、日研究生はコース修了時まで**少なくとも315時間の日本語・日本文化の研修**を受けることになります。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

・日本研究Ⅰ、Ⅱ（修了研究；1コマ、通年45時）：「日本研究Ⅰ」（後期）と「日本研究Ⅱ」（前期）は修了研究として、どちらも必ず取らなければなりません。指導教員の指導の下、日本語・日本文化に関するテーマを一つ選び、調査・研究を行い、その成果を論文として「日本研究Ⅱ」で提出し、国際教育推進センター紀要で発表します。

・日本語・日本事情科目（表1参照）：日本語科目は、プレースメントテストの結果により受講レベルが判定されます。日本語科目には、中級と上級の各レベルに、読解や作文など目的別の科目があり毎学期最低3科目（3コマ、通年で135時間）受講しなければなりません。

II) 選択科目

・グローバル科目：下の4)を参照してください。
・教養・専門科目：各学部の日本人学生のための科目です。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加できる科目及びその具体的な内容

・表2をご覧ください。

4) 日本人学生との共修等の機会

グローバル科目（表2参照）は国際人養成のための科目で、日本人学生と一緒に学びます。「ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ」「狂言で大分を学ぶ」「シティープロジェクト：大分と別府」「日本語学Ⅰ」などがあります。

表1. 中級から上級までの日本語・日本事情科目（一部抜粋）

科目名	JLPTレベル
日本語4文法Ⅰ	N2
日本語4文法Ⅱ	N2
日本語4スピーキング	N2
日本語4読解Ⅰ	N2
日本語4読解Ⅱ	N2
日本語4作文Ⅰ	N2
日本語4作文Ⅱ	N2
日本語4応用Ⅰ	N2
日本語4応用Ⅱ	N2
多読で学ぶ日本語	N2
日本語5文法Ⅰ	N1
日本語5文法Ⅱ	N1
日本語5スピーキング	N1
日本語5読解・作文Ⅰ	N1
日本語5読解・作文Ⅱ	N1
日本研究Ⅰ	
日本研究Ⅱ	

表2. グローバル科目（一部抜粋）

科目名	内容	JLPT レベル
ソーシャル ネットワーク と大分からの 発信Ⅱ	大分地域の環境 保護・過疎の状 況を知る	N1 (日英語 で授業)
サステナビリ ティ大分 I, Ⅱ	持続可能な未来 とは何かを 考える	N1 (日英語 で授業)
シティープロ ジェクト：大 分と別府	大分市・別府市 の街並みを観察 し、町おこしを 考える	N1 (日英語 で授業)
日本文法と ディスコース	システムック言 語学の視点から 日本語を分析し、 テキスト分析の 基礎を学ぶ	N1 (日英語 で授業)
日本語学I	日本語の音声、 語彙、方言、 文法などを 学ぶ	N1
ビジネスジャ パニーズ演習 1, 2, 3, 4	就職対策、及び、 ビジネスに関す る情報収集法 などを学ぶ	N1
狂言で大分を 学ぶ	伝統芸能を演じ ることで大分を 知る	N1 (日英語 で授業)
注：太字の科目は見学・地域交流を行う参加型の科目		

⑪ 指導体制

プログラムの責任教員は、国際教育推進センターの南里敬三（なんり けいぞう）、坂井美恵子（さかい みえこ）です。

個別研究指導はセンター教員が行い、並行して指導教員から指導を受けたチューター（本学正規生）による日本語学習支援も受けることができます。

個別指導の専門分野は「日本語教育」、「日本語教授法」、「外国語教育論」、「応用言語学（GALL・動機・第2言語習得研究）」、「大分学（歴史・言語）」、「ジェンダー・スタディーズ」、「中間言語語用論」、「日本文学（主に近代・現代）」、「大衆文化研究」、「比較文化・文学理論研究」、「イデオロギーと談話構造の研究」、「システムック言語学」などです。

■ 宿 舎

日本人学生が主に生活している学生寮に入居します。そのため日本語漬けの生活を送ることができます。詳細は以下の表3をご覧ください。

表3. 学生寮の部屋代・設備など

部屋代 (月額)	27,000円 または 22,000円 (全室一人部屋)
設備	机、椅子、ベッド(寝具なし)、 クローゼット、ユニットバストイレ、 ミニキッチン(冷蔵庫、IHクッキング ヒーター)、エアコン
部屋代以 外の費用	・維持管理一時金 26,400円(入居時) ・水道料 2,000円/月 ・電気は個別契約 ・インターネット料 2,037円/月(全員 加入)

■ 修了生へのフォローアップ

日研生プログラム修了生は、ブログ、Facebook、Skype等のソーシャルメディア・プラットフォーム及び電子メールなどを通じて、修了後の更なる学術的指導及び進路相談を受けることができます。また、Facebookを通して他の修了生との情報交換も行え、大分大学及び大分地域の最新情報も入手することが可能です。

■ 問合せ先

<担当部署>

大分大学 学生支援部 学生・留学生支援課

住所： 〒870-1192
大分県大分市旦野原700番地

TEL： +81-97-554-7444 (直通)

FAX： +81-97-554-7437

Email： ryugaku@oita-u.ac.jp

<ウェブサイト>

大分大学国際教育推進センター：
<https://www.gaia.oita-u.ac.jp/>

大分大学：
<https://www.oita-u.ac.jp/>

日研生について：
<https://www.gaia.oita-u.ac.jp/academic/kokuhi/>



授業（グローバル科目）：狂言で大分を学ぶ